

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート (事後評価)

評価実施年月：平成28年3月

1. 対象事業	泉北環境整備施設組合合流式下水道緊急改善事業				
2. 実施主体名称	泉北環境整備施設組合				
3. 計画期間	平成17年度～平成25年度				
4. 対象事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none">・夾雑物除去対策：スクリーン設置済み。・汚濁負荷削減及び公衆衛生上の安全確保（未処理放流回数半減）対策：<ul style="list-style-type: none">①流域接続管：流域下水道圧送管、接続管の布設工事（圧送管φ300 L=640.67m、接続管3箇所）：完了②高速ろ過施設（新設）：高速繊維ろ過施設の建設工事 0.421 m³/S (BOD55% 除去)：完了③雨水滞水池（新設）：雨水滞水池の建設工事 2,900 m³ (1号滞水池)：完了④既設水処理池（改造）：既設水処理池の改造工事 10,800 m³ (2、3、4号滞水池)：完了⑤沈砂池・ポンプ棟：機械・電気設備工事 ポンプ、配管、バルブ、ゲート等：完了⑥中央制御室：監視制御装置の増設及び改造：完了				
5. 目標の達成状況と達成の見通し	目標に対する達成状況				
	改善項目	評価指標	対策前	改善目標	事後評価
	汚濁負荷量の削減	①BOD放流負荷量	①78.5 t/年	①45.5 t/年	①37.4 t/年
		②雨天時放流 BOD 負荷量	②70.8 t/年	②37.8 t/年	②36.1 t/年
	公衆衛生上の安全確保	未処理下水の放流回数	69 回/年	34 回/年	24 回/年
	夾雑物の削減	スクリーンの設置	設置済み	設置済み	設置済み
	<ul style="list-style-type: none">・改善計画をもとに事業を実施し、平成25年度末にはすべての工事が完了した。平成26年度から合流改善施設の供用が開始し、すべての改善目標を達成している。				
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<ul style="list-style-type: none">・事業完了に伴い、次の改善効果が得られた。<ul style="list-style-type: none">BOD 放流負荷量：78.5t/年 ⇒ 37.4t/年（削減率 52.36%）※放流負荷量の削減（分流並）雨天時放流 BOD 負荷量：70.8t/年 ⇒ 36.1t/年（削減率 49.01%）※放流負荷量の削減未処理放流回数：69 回/年 ⇒ 24 回/年（削減率 65.21%）※未処理放流回数の半減放流水質基準（BOD）：70.4mg/L ⇒ 34.1mg/L（目標値：40mg/L 以下）※放流水質基準への対応				
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<ul style="list-style-type: none">・日本下水道事業団委託により、計画期間内での建設及び工事完了に取り組んだ。・既存施設を利用（改造）することで、事業費の削減に取り組んだ。・新技術の採用（SPIRIT21 の開発技術の採用）により、建設費及び維持管理費の削減に取り組んだ。・流域下水道への統合により、維持管理費の削減に取り組んだ。				
8. 今後の方針	<ul style="list-style-type: none">・現状において、改善目標をすべて達成できている。本組合の下水道事業については、平成26年4月1日付けをもって、組合市（泉大津市、和泉市、高石市）にそれぞれ移管されていることから、今後は、施設の適正な維持管理に努め、継続的な水質調査を行い、公共用水域の水質保全に努める。				